

令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	富田林商工会	
	代表者職・氏名	会長 金谷 一彦	
	所在地	富田林市粟ヶ池町2969-5	
	担当者	職・氏名	事務局長 寺内 一裕
		連絡先	TEL（直通）： 0721-25-1101
Fax： 0721-25-9009			
		E-mail： info@tonshow.or.jp	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		昭和 37 年 7 月 22 日 9 名（経営指導員 9 名）（令和 4 年 4 月 1 日現在） 富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村 4,395 （平成28年度経済センサス） 3,867 （平成28年度経済センサス） 1,986 （令和4年 3 月 31 日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
(1) 商工業に関し相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会・商談会等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し維持し、又は運用すること。 (7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。			

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>管内事業所においては、昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経営状況の悪化が著しい。国や大阪府などの感染拡大に関する政策等により、経営基盤の見直しが必要とされていると感じる。また、高齢化による後継者不足、労働力不足など地域における現状は極めて厳しさを増している。それらの状況を踏まえ、令和3年度はこのような非常事態の中、多種多様な問題、課題に対して、より迅速に経営者の生の声を聴き、そのメニューごとに対応策を講じ、リアルタイムに各種支援を行うことを目標にした。そして、現状を把握したうえで、当会経営指導員と専門家と連携を図りながら各種事業を実施。その上で、専門的且つ高度化な支援が必要な事業所については、関係支援機関、各種専門家と連携を強化し、コロナ禍の小規模事業者のニーズに適した各種事業を実施した。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>令和3年度については、経営相談支援事業は、緊急を要する相談が多く、リアルタイムで相談できる体制を構築するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による融資を中心とした金融支援、コロナ禍において新たな販路の開拓等につながる販促支援や補助金等の活用支援、それに伴う事業計画書作成等伴走型の支援を重点的に行った。また、非対面ビジネスの新たな構築としてSNS等の活用、ECの推進など新しいビジネスモデルに繋がるような支援を中心に行った。専門的知識が必要な場合においては、大阪府よろず支援拠点等関係支援機関等と連携し、解決に向けた支援を積極的に実施した。</p> <p>地域活性化事業については、新しい取り組みとしてコロナ禍における労働力の確保につながる若手人材の採用と高齢者継続雇用事業を実施した。その他事業については、昨年に引き続き小規模事業者の販路開拓、情報発信力の強化に重点を置いた政策を実施、また地域の魅力を発信できる事業も合わせて実施した。今年度は、コロナ禍においても事業を推進していく手段として、初めてオンラインセミナーを導入した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>小規模事業者が抱える様々な課題を窓口、巡回指導を通じて実態を把握し、課題解決に向けた支援を行った。新型コロナウイルスの感染拡大により、金融支援等を迅速に行ったことにより、リアルタイムで対応する支援を実施することができたと感じる。また、大阪府よろず支援拠点等と連携し、専門的分野についても効果的な支援ができたと思われる。それらを実施したことにより、コロナ禍においても金融支援を含めた効果的な支援を実行することができ、事業者が今必要だと感じる支援を行うことで、商工会の役割を果たすことができたと考える。</p> <p>地域活性化事業についても、コロナ禍において、事業を再構築できるような販路開拓、売上の増加につながるような事業を重点的に実施、非対面型ビジネスを推進できるような取組を支援することができたと感じる。</p> <p>今後は、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えさらに地域事業者の活性化につながるよう伴走型支援を実施していきたい。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い経営基盤の再構築が必要であり、中、長期的な視野で事業計画を立てながら持続性の高い経営ビジョンが必要であると感じる。事業者が持っている課題解決に向けて必要な支援をリアルタイムで実施することにより、経営の安定化を図ることにつながる。事業者のニーズを読み取り、的確な支援を実施することにより、事業を継続的に行うことにつながることから、事業者個々の課題やニーズに応えるための体制を構築するとともに、持続可能な経営体制を作り上げていくための支援が重要である。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>次年度は、より個別相談に重点を置き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受けている事業者によりリアルタイムで必要だと思われる支援を迅速に行う。事業者ニーズに即時に対応できる体制づくりを行うと伴に、地域活性化事業に必要な情報提供を行い、個別支援を経てカルテ化につなげていく。今年度も経営に関する相談が多くなることが予想されることから、関係支援機関、専門家団体とより連携を図りながら支援を充実させる。また経営指導員の資質の向上も必要であることから、OJT制度を導入し、経営指導に必要なスキルを習得できる仕組みづくりを行い若手経営指導員の資質の向上を図る。また、「経営発達支援計画」、「事業継続力強化支援計画」なども実施する必要があることから、大阪府及び管内市町村、関係機関・団体との連携が必要不可欠であり、地域での独自性や主体性を生かしながら活性化を図ることとする。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 富田林商工会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>令和3年度は、令和2年1月に国内で発見されたコロナウィルスの感染者が増加し、緊急事態宣言やまん延防止措置の発令により、管内事業所においては、業務停止や一時休業に追い込まれ経営を持続する事さえ困難な状況でえあり、最優先となる事業継続支援となる「金融支援」や「コスト削減支援」、またリスク把握に向けたコロナ感染を想定した「事業継続計画作成支援」を行った。一方、経営改善支援では、販路拡大としてオンライン展示会の活用やIT支援による営業効率化を図るよう支援を行う事で、維持に留まらない改善の糸口をつかむ事業所も多く見られた。本年の特徴として、大手企業の雇用維持が難しい中、創業者が多く記帳支援や持続事業者においても、収支自体の明確な把握を効率的に行う為、自動化を目的としたIT導入支援が予算要望より増加し実施している事が特徴と言える。</p> <p>代表事例として報告する事業所は、野球のピッチングマシンなどの設備の販売及びメンテナンス業であるが、令和3年度は、著しい成長から、記帳支援による収支の明確化や2度にわたる資金調達支援を実施しているが、同事業所は、令和1年創業、令和2年より相談に来会、金融支援を実施し行動余力を資金的に確保した上で、販路支援により展示会の営業技術の習得やSNS強化など支援を行い、売上が令和1年790万円であったものが、令和2年997万円となり、令和3年2771万円と3年の成長率は3.5倍以上となるなど、順調に経営向上させる事に成功した。本来、野球設備の取引先の中心が学校になり、コロナウィルス感染防止による野球部の活動低迷から、収益減少しているライバル社が多い中、全国的な営業環境を構築した事や独自商品の開発による差別化を図るなど、コロナ影響を軽減し経営向上を行う事が出来た。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	330	319	96.7%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	2	3	150.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	2	4	200.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	102	119	116.7%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	1	100.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1	
記帳支援	事業所	26	69	265.4%	5	
労務支援	支援数	50	59	118.0%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	5	6	120.0%	5	
マーケティング力向上支援	事業所	1	1	100.0%	5	
販路開拓支援	支援数	75	43	57.3%	3	
事業計画作成支援	支援数	20	15	75.0%	4	
創業支援	事業所	1	0	0.0%	1	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	40	26	65.0%	4	
コスト削減計画作成支援	事業所	30	16	53.3%	3	
財務分析支援	事業所	1	0	0.0%	1	
5S支援	事業所	8	3	37.5%	2	
IT化支援	事業所	30	43	143.3%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	0	
事業承継支援	事業所	1	4	400.0%	5	
災害時対応支援	事業所	0	0			
フォローアップ支援	事業所	80	0	0.0%	0	
結果報告	事業所	330	319	96.7%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>令和3年度における専門相談は、コロナ禍の中でも以前の地域活性化事業やカルテ支援により成長し、一層の社会的信用を向上させる為、法人化を踏まえ、その導入の是非や環境考慮における相談やコロナ禍の中で、売上債権未回収となるケースも多く、こうした環境を未然に防ぐため、契約書の見直しや作成内容の考慮として司法書士への相談を中心に相談を実施した。事業成果として法人化の是非を踏まえた上で、7事業所が法人化している。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
経営相談	継続	支援回数	30	30	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>新型コロナウイルスの感染拡大によりアルタイムに必要な事業を優先的に実施し、管内地域の事業の再構築、経営基盤の強化、地域の活性化を図る目的で、地域活性化事業を実施した。今回、新規事業として数年前から少子高齢化等で若手人材が不足しているとの相談が多いことから若手人材の採用と若手従業員の定着に向けたセミナーを実施。また、高齢者の継続雇用も積極的に推進していただくために高齢者雇用サポート事業を実施することで、企業の人材不足の解消と地域での労働力の確保を図り、一定の成果は感じられた。その他の事業については、新型コロナウイルス感染拡大により非対面型ビジネスモデルの推進、ITツールを効果的に活用できる支援につながる事業、小規模事業者の販路拡大に繋がる事業等を開催、事業者の新たな販路の開拓に重点をおいたものを実施したことで、効果はあったと考える。さらに、地域振興にも繋がる、とんぼ事業、地域ブランド商品・特産品等（地域観光資源）の情報発信事業も実施した。上記の事業を実施したことにより、労働力の底上げ、地域の活性化、新たな販路の開拓など多岐にわたる支援を実施することで効果があったと感じる。コロナ禍において廃業等が増加する中で対応策として創業セミナーを開催、新たな創業者の育成を支援することにより、地域内の事業者の底上げにつながった。地域活性化事業（単独事業及び各地域と連携した広域事業）を実施したことにより、小規模事業者の知識の向上や、新たな顧客の獲得など指標の目標を達成することにつながり、地域小規模事業者（支援事業所）の成長改善等に貢献することができた。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	地域ブランド開拓、情報発信事業	56	59	105.4%	100	自社製品の販路拡大ができた回答した割合	70	100	142.9%	5
	とんだばやしバル事業	60	45	75.0%	73.3	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得に繋がった回答した割合	70	75.5	107.9%	5
	富田林まちゼミ事業	20	16	80.0%	80.0	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得に繋がった回答した割合	70	82.3	117.6%	5
○	B C P普及啓発事業	32	23	71.9%	100	簡易版BCP作成シート作成企業割合	80	97.6	122.0%	5
○	中小企業に対する高齢者雇用サポート事業	15	11	73.3%	100	セミナーを受講することにより高齢者雇用に関する知識が向上した事業所割合	70	100	142.9%	5
○	中小企業における高校生採用支援事業	15	10.5	70.0%	100	セミナーを受講することにより若年者（高校生）雇用に関する知識が向上した事業所割合	70	100	142.9%	5
○	雇用管理労務対策セミナー	60	45	75.0%	100	雇用管理について理解を深めることができた企業割合	70	77.4	110.6%	5
(2) 広域事業（幹事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	I T ツール活用支援事業	103	101	98.1%	100	I T ツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合	70	88.9	127.0%	5
○	製品・商品・サービス魅力強化発信事業	25	19	74.0%	100	プレスリリースを実践していただきたいと考える企業割合	80	88.8	111.0%	5
○	創業促進事業	80	84	105.0%	100	創業意識が向上した割合	70	87.5	125.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

富田林商工会

事業名		地域ブランド開拓、発信事業															
想定する実施期間		H12 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内小規模事業所において、商品力はあるが販売ルートが確立されていなかったり、事業展開が思うように進んでいない商品（製品）が多々ある。そのような商品（製品）をブランド商品として認定、PRすることにより販路の拡大や新規顧客の開拓等新たな事業展開を支援する。また、特産品をブランド化し情報発信することにより、地域の観光事業の活性化が図れ、地域振興や商工業発展に貢献することができる。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	商工会管内の小売、サービス、製造、農林業等含めた全事業者															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○市広報やHP等でブランド認定事業者を募集し、年1回富田林ブランド認定審査会を実施、認定商品を選定する。認定商品に選ばれたブランド商品については事業者へ認定証、ブランド認定ロゴシールを発行する。また、大阪府内外でのイベント等PR可能な場所へはブランド認定委員会として出店しブランド商品の積極的な告知活動を実施する。また、認定委員会HPで消費者が直接購入できるような仕組みを作り上げたことによる新たな販路の開拓。市町村と広域連携しながら南河内ブランド商品のPRの実施。</p> <p>現在の認定商品 (①楽豆シリーズ、②寺内町せんべい、③富茶粥、④富ぼうし、⑤寺内町あてまげの辻、⑥超楽ベルト、⑦あずま養蜂場の100%純粋はちみつ、⑧みつばち農園のローヤルゼリー、⑨さしみ卵、⑩赤ねこ餅、⑪ぽん大福、⑫牛肉の大和煮缶詰、⑬ほんまものたこ焼きクリスピー、⑭クリスタルストーンサンド、⑮自然農法米 嬉さん、⑯いちごのコンフュチュール、⑰富田林チップス、⑱古布をイメージした和柄のがまロケース、⑲竹のインテリア製品、⑳なすケーキ、㉑いっちゃんバーム、㉒イイサーSSエコスピカー、㉓オリジナルテキスタイルデザイン「カードケース」、㉔オリジナルデザイン「缶バッジハンドミラー」㉕CD露木誕生祭 露子に愛をこめて、㉖三洋こだわり綿棒シリーズ、㉗海老パン、㉘焼きラーメン、㉙じないまちサブレ漫ろ、㉚富田林じないまち詩音、㉛いのちゃんコロッケ㉜木曜日のサーモン(28社32商品)</p> <p>○太子町、河南町、千早赤阪村の特産品を南河内ブランド商品としてイベント等での販売の実施。</p> <p>○地域で数回展示販売会を実施し、ブランド商品及び地域特産品のPR活動を行い、地域で作られたものであるということを消費者に知ってもらう機会を提供する。</p> <p>○商工会が中心となり、富田林市ブランド認定委員会と連携して地場の特産品を活用した地域性の高いおみやげもの（特産品等）を試作品の開発を行う。</p>															
		<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。	④相談相乗	
	①府施策連携																
②広域連携																	
③市町村連携	富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。																
④相談相乗																	
	<table border="1"> <tr> <td>総支援企業数(計画)</td> <td>56.0</td> <td>総支援企業数(実績)</td> <td>59.0</td> <td>支援実績率</td> <td>105.4%</td> <td>満足率</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	総支援企業数(計画)	56.0	総支援企業数(実績)	59.0	支援実績率	105.4%	満足率	100.0%								
総支援企業数(計画)	56.0	総支援企業数(実績)	59.0	支援実績率	105.4%	満足率	100.0%										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)																
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①新たに2社(2商品)を認定した。認定商品も28社32商品になり認知度向上につながることができた。</p> <p>②新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、イベント等が未開催となる中で、HP等を活用した商品のPR事業を行った。</p> <p>③観光協会等と連携し、富田林ブランド商品の展示会を実施、広く消費者にアピールすることができた。</p> <p>④コロナ禍において販売促進につながるようなパンフレットを作成、消費者へのアピールに努めた。</p>															
	代表指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合															
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%											
成果の代表事例	新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりイベント等が自粛や中止になり例年のような販売活動を行うことができなかった中で、継続してHPやアンテナショップ等でPRしたことにより新規顧客の獲得につながった。																
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度												

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりイベント等の多くが中止になっており、直接的な消費者PRを実施することができなかった。今後も同様なことが起こりうると想定し、SNSやHP等での情報発信力が必要であり、それらの強化につながるようなセミナー等を実施し、販売促進力の向上に努めたい。
------	--	--

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	66.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった。								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	24.0	支援企業数(実績)	28.0	支援実績率	116.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった。								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	78.5%		目標達成度	112.1%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	14.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった。								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった。								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

富田林商工会

事業名		とんだばやしバル事業							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市内の多くは、過疎などの人口減少問題や経済活動の縮小など地域の課題と呼ばれるものが多く存在し、地域社会、地域のコミュニティの維持すら困難な状況である。また、地域の商店会も同様に市場の縮小、後継者不足など様々な課題を抱えており、商店会として機能的に活動しているとはいいがたい。そこで、地域社会を維持発展させるためには地域での効果的な経済活動が必要である。地域の課題はニーズであり、そのニーズに対応するべく地域の課題を見直すことや視点を変えることがこれからは特に重要である。そこで、地域外から資金が流入する仕組みを作り、その資金を地域内で循環、それを動かす人材を育成することで地域に新しいビジネスや事業、事業者を創造、創出することを目的に、地域外からの消費者を呼び込むことで新規顧客の開拓、販路の拡大を目指す。また、事業者間でのネットワークづくりにもつなげることができ、地域力強化を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催日：令和3年10月31日(日)から11月7日(日)の8日間開催。 開催場所：富田林市内全域 開催内容：「とんバル」チケットを販売し、参加者は参加店舗が掲載されているバルマップを見ながらまち歩き、買い物、食べ歩き、飲み歩きなど富田林市内を散策してもらう。 参加店舗：市内の飲食、小売、サービス業等 ※実行委員会形式を取り、その中で富田林商工会は事業の企画立案、事業者の募集、マップ等の印刷物の製作、販促活動の支援等を実施する役目を担う。 参加企業数：45社</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	富田林市において、事業に関しての広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。							
	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	45.0	支援実績率	75.0%	満足率	73.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮しながら事業を実施した。今年度は富田林市との共同事業がなかったため参加事業者が少し減少したものの満足度も73.3%と高く一定の成果はあったと考える。また、コロナ禍において事業者自身がバル事業をSNS等で積極的にPRしていただけたこともあり購入数は前年度とほぼ変わらず販売することができた。さらに富田林市と協力して事業PRに努めたことにより、事業効果が高まり、事業に対する知名度が上がったことで売上の増加、新規顧客の獲得につなげることができた。							
		代表指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	75.5%	目標達成度	107.9%		
	成果の代表事例	新しく開業された店舗がこの事業に参加したことで認知度が高まり売上の増加、新規顧客の獲得につなげることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年同様、新型コロナウイルスによる影響があり、事業が実施できるかどうか手探りではあったが、開催したことで一定の成果はあったと感じる。次年度も昨年と同じではあるが、安全、安心、感染防止の観点から事業を開催できるよう富田林市や事業者と連携しながら実施する必要がある。また、バル事業の認知度をさらに上げることで参加事業者の増加につなげていきたい。							

富田林商工会

事業名 とんだばやしまちゼミ事業

想定する実施期間 H30 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市内においては、人口減少や経済活動の縮小など地域の課題と呼ばれるものが多く存在している。また、小規模事業者においても大型店舗の出店や後継者不足など課題が山積しており、事業を継続していくことが困難になってきているのが現状である。商店会においても同様であり、空き店舗が増加し、会員数も減少傾向にある中で独自で事業を実施し、地域の活性化につなげるのが難しくなっている。そこで、大型店舗ではできない個人商店や商店会ならではの魅力を発信し、消費者への認知度を上げ、地域に足を運んでもらえる仕組み作りを促進することで、新規の顧客獲得、販路の拡大に繋げることができるよう仕組み作りを目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日：令和4年2月1日(火)から28日(月)の1ヶ月間 開催場所：富田林市内 開催内容：店主が講師となって専門知識やコツ、お得な情報を教えてもらえる少人数制のゼミ。 参加企業数：16社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	80.0%	満足率	95.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルスの感染が拡大している中での実施であったため、予定の支援企業数に達することはできなかったものの、満足度は95%と高く事業の内容には満足していただいたと感じる。参加企業の多くが、新規の顧客獲得につながり、また店舗への来店率が上がったなど目標は達成できたと考える。また、事業者自身がSNS等を活用し積極的にPRしたことで販売促進力の向上につながった。							
		代表指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	82.3%	目標達成度	117.6%		
	成果の代表事例	コロナ禍での開催であったため、予定の参加者よりも少なかったが、事業に参加したことで新たに店舗に来店いただいたことにより、顧客獲得につながった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年は新型コロナウイルスの感染拡大のため開催を中止したが、今年度は感染防止対策を徹底し開催実施した。新型コロナウイルスの感染が拡大している中での実施であったため予定の参加企業数に達することができなかった。非対面での開催も検討したが準備に時間を要することもあり実施には至らなかった。次年度以降はより良い開催方法を検討し実施につなげたい。							

富田林商工会

事業名		BCP普及啓発事業							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	平成30年度に大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風19～21号など小規模事業者には甚大な影響を及ぼす大規模災害が相次いだ。近年は、大規模な直下型地震や南海トラフ地震など大規模地震の発生も想定される中で、個々の小規模事業者の経営だけでなく、サプライチェーンにも大きな影響を与えるおそれがある。大企業では、事前対策の取組が進んでいる一方で、小規模事業者における災害への備えの取組は、一部にとどまっておらず経営資源が脆弱な小規模事業者は、ひとたび被災すると経営に大きな影響を受ける可能性が高いと考えられる。このような中で、当会として「事業継続力強化支援計画」を令和2年12月に申請し、令和3年4月より実施を予定しており、関係市町村と連携し、自然災害等に備える小規模事業者の取組を支援し、体制、取組を強化することで、持続的発展につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業継続、計画策定セミナーを開催予定。 開催日時：令和4年1月14日(金)午後8時から 開催場所：富田林市市民会館 会議室 開催内容：事業継続に影響を及ぼす自然災害等が発生した場合の危機管理、マネジメント知識について 参加企業数：21社 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府と連携することで、BCP計画の必要性を円滑に説明することができたとともに、簡易シートの作成についてもスムーズに実施することができた。							
	②広域連携								
③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。								
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	23.0	支援実績率	71.9%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催時期を見定めながら実施したため、支援企業数が計画より少なくなったが、満足度は高く一定の成果はあった。BCP計画の重要性や日常からの危機管理の大切さを理解してもらうことで、簡易シートの作成につなげることができた。自社で取組んで行こうと考える企業もあり、意識の向上につながったことで目標数値は達成できたと考え。							
	代表指標	簡易版BCP作成シート作成企業割合							
	数値目標	80%	実績数値	97.6%	目標達成度	122.0%			
	成果の代表事例	セミナーを受講し、簡易版のBCP作成シートを作ったことで、自社での取り組みの必要性を再認識し、具体的な申請につながった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、実績が計画を下回ってしまった。また、非常に大事なことであることは認識しているが具体的な進め方や取り組み方がわからない企業も見られたため、より詳細な説明が必要であるとともに、専門的な支援の必要性も感じた。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講することで、大規模災害に対応できる知識と対応力の向上、簡易版BCPの作成につながった。							
		指標	簡易版BCP作成シート作成企業割合						
	数値目標	80%	実績数値	95.2%	目標達成度	119.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講することで、大規模災害に対応できる知識と対応力の向上、より具体的なBCPの策定を検討した。							
		指標	伴走型支援を行うことにより具体的なBCP策定につながった企業割合						
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

富田林商工会

事業名

中小企業に対する高齢者雇用サポート事業

想定する実施期間

R3 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

人口は、近年減少局面を迎えており、**2065年**には総人口が**9000万人**を割り込み、**65歳以上**人口の割合「**高齢化率**」は、全人口の**38%**台の水準になると推計される。それに伴い、生産年齢人口割合も約**50%**近くまで下がると予想され、労働力人口の減少は避けられないと考えられる。今後経済成長と労働参加が適切に進まないケースで推計すると、**2030年**までに就業者数が、約**790万人**減少すると見込まれる。(60歳以上の就業者についても約**105万人**減少。)さらに少子高齢化が急速に進展する中、新卒者など若年就業者の採用が難しくなり、人材の確保及び成長力の確保が大きな課題となることから、それらの現状を踏まえ、高齢者雇用、高齢者継続雇用を促進することで、職場環境の改善につながり、若手職員も長く働き続けられるという将来像が描けるなど従業員の職場定着や職場全体の活性化につながるまた、高齢者が有しているノウハウや技術を若手社員に伝承することで従業員のスキル向上や人材育成につながるなど高齢者雇用は企業にとっても大きなメリットにつながると考えられる。豊富な経験や知識を有する高齢者が、意欲のある限り年齢にかかわらず働くことができる社会の実現が必要であり、企業にとっての労働力不足を解消するため、高齢者雇用、高齢者継続雇用を促進することで、企業の働き手不足の解消につなげる。

支援する対象
(業種・事業所数等)

管内の小規模事業者を対象とする。(特に製造業からのニーズが高い)

実施時期・具体的な内容及び事業手法

①開催日時：令和4年3月15日(火) PM3:00～PM4:30
開催場所：富田林市市民会館 1階 会議室
開催内容：高齢者雇用に関するセミナー
参加企業数：11社

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携 大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。

②広域連携

③市町村連携 市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。

④相談相乗

カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。

計画に対する実績(数値)

総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	100.0%
------------	------	------------	------	-------	-------	-----	--------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

新型コロナウイルスの感染が拡大している中で事業実施であったため参加企業数が少なかったが、その分企業が聞きたいことや質問などを受ける時間が作れたことで、より実態に即したテーマで進めることができ、満足度の高さにつながったと考える。企業も環境整備の重要性を再認識していただくことができたことで継続雇用につなげる意識が高まったと感じる。

代表指標 セミナーを受講することにより高齢者雇用に関する知識が向上した事業所割合

数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%
------	-----	------	--------	-------	--------

成果の代表事例

高齢者の継続雇用を検討している企業が、セミナーを受講したことにより社内での体制や環境整備を行ったことにより継続雇用できる環境づくりを推進することができた。

その他目標値の実績

目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度	
---------	--	---------	--	-------	--

実施結果

課題及び次期以降への取組み
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、事業日程を再三変更し実施した。また、高校生採用と高齢者セミナーの両方を実施したが次年度は高校生採用のほうに重点を置き開催し、新たな雇用の創出につなげたい。

富田林商工会

事業名		中小企業における高校生採用支援事業							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスの感染拡大が小規模事業者等にも大きな影響を及ぼしている。とりわけ、雇用情勢は大きく悪化しており、完全失業者数や休業者数は前年に比べ大幅に増加、就業者数や労働力人口は大幅に減少と見通しが立たなくなる一方で、特定の業種によっては、深刻な人材不足が見受けられる。今後、事業を継続、活性化させるためにも人材確保が急務であり、とりわけ若年者雇用に対する支援を積極的に行うことで、事業者の若年者採用意欲を高め、労働力不足を解消することを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の小規模事業者を対象とする。(特に製造業からのニーズが高い)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時：令和3年7月20日(火) PM3:00～PM4:30 開催場所：富田林商工会館 2階 会議室 開催内容：①高校生採用の動向について ②高校生採用のルールについて ③高校生採用後の定着状況について 参加企業数：10社11名 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。							
	②広域連携								
③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。								
④相談事業相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	10.5	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルスの感染が拡大している中での開催であったため、参加企業数が計画に対して少し少なかったものの満足度は100%と内容に対しては評価していただけたと感じている。事業に参加したことで、高校生採用に興味を持ってもらえたり、採用に取り組んでいきたい、知識が向上したなどアンケートでの結果を見ても概ね目標を達成できたと考える。							
	代表指標	セミナーを受講することにより若年者(高校生)雇用に関する知識が向上した事業所割合							
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	今まで高校生の採用に取り組んだことのない企業が、セミナーを受講したことで高校生の採用に興味を持っていただきまた、高校と具体的な相談をするなど高校生採用に積極的に取り組まれた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)			目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりスケジュールなどを含め事業開催が難しかった。次年度も引き続き新型コロナウイルスの影響を考えながらの事業実施になると想定されるのでオンラインなどでの開催を検討していきたい。また、内容については引き続き大阪府と連携しより雇用促進が図れるような内容を検討する。							

富田林商工会

事業名		雇用管理労務対策セミナー							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、長時間労働など様々な労働に関する諸問題が取り沙汰されており、雇用主、被雇用者及び求職者などから労働環境についての関心が高まっている。それに伴い、管内の事業者では大規模事業者と比べ労働環境の整備が不十分であることから、求職者からの関心が離れる傾向にあり人手不足に陥っている。そのため、労働環境を整備し従業員の定着と人材不足を解消するため、専門家による雇用管理セミナーを開催し企業の課題解決につなげることを目的とする。また、新型コロナウイルス感染症への対策として、雇用維持のための調整助成金等の活用や多様で柔軟な働き方の導入も目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の従業員を雇用する企業（全業種） 小規模事業者並びに中小企業の人事・労務担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時：令和3年7月20日（火）PM1：10～PM4：30 開催場所：富田林市市民会館 1階 会議室 開催内容：労務実務担当者講習会 参加企業数：23社24名 ②開催日時：令和4年2月17日（木）PM1：10～PM4：30 開催場所：富田林市市民会館 1階 会議室 開催内容：労務実務担当者講習会 応用編 参加企業数：21社							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。						
③市町村連携		市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	60.0	総支援企業数(実績)	45.0	支援実績率	75.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルスの感染が拡大している中での開催であったため、計画していた支援企業数を下回ってしまったが、セミナー内容の満足度は高く、成果はあったと考える。参加企業も、知識の向上や自社での取り組みの見直し、労務管理の徹底などセミナーで習得した内容を企業内で活かしていくなど取り組んでいく姿勢がうかがえセミナーの効果は高かったと感じた。							
		代表指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	77.4%	目標達成度	110.6%		
	成果の代表事例								
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				
					目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大中の開催であったため、予定の支援企業数を下回る結果となってしまった。また、連携機関との調整にも時間を要したこともあり事業を進めていくうえで難しい面が多々あったと感じる。今年度は初めてリモートでの開催を実施したが、反省点も多々あるが次年度も見直ししながら取組み続けていきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	23.5	支援実績率	78.3%	満足率	95.7%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことで、人事、労務の知識の向上が見込まれ、社内での労務管理に活かすことができた。							
		指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	73.9%	目標達成度	105.6%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことで、人事、労務の知識の向上が見込まれ、社内での労務管理に活かすことができた。							
		指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	80.9%	目標達成度	115.6%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

富田林商工会

事業名		ITツール活用支援事業						
想定する実施期間		H23 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	○事業を多角的に展開する上でITツールの活用は必要不可欠である。そこで、今話題性のあるソーシャルネットワークサービス等の講習会を実施することにより、企業内でのIT化の促進、ITスキルの向上や販路拡大、ITを導入することによる業務の効率化等が図れるように支援することを目的とする						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	○南河内地域の中小企業、小規模事業者を対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	Aコース 開催日時：9月10日、9月14日、9月17日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林商工会 開催内容：無料で作れる！ECサイトの作成実践セミナー 参加企業数：20社 Bコース 開催日時：9月28日、10月5日、10月12日 午後2時～午後4時 開催場所：河内長野市商工会 開催内容：LINE公式アカウント活用セミナー 参加企業数：25社 Cコース 開催日時：10月19日、10月22日、10月26日 午後2時～午後4時 開催場所：大阪狭山市商工会 開催内容：販売促進に活かせるSNS活用セミナー 参加企業数：19社 コロナ禍の成長する最新IT集客ビジネス活用セミナー 開催日時：11月1日、11日、16日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林市市民会館会議室 開催内容：IT集客ビジネスセミナー 参加企業数：37社						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携						
②広域連携		各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につながることができた。						
③市町村連携								
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	103.0	総支援企業数(実績)	101.0	支援実績率	98.1%	満足率	98.0%
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①「無料で作れる！ECサイトの作成実践セミナー」について、非対面型ビジネスを推進するためにはECサイトの活用が不可欠である。サイトの作成や活用などについて受講することで、非対面型ビジネスモデルの推進につながり、新たなビジネスモデルへの転換が図ることができた。 ②「LINE公式アカウント活用セミナー」について、情報発信のツールとしてLINEの導入は不可欠であり、効果的に活用することでより情報発信力が強化される。ラインを使いこなすことでより販売促進活動を促進することができ、売上増加につながった。 ③「販売促進に活かせるSNS活用セミナー」については、事業者が非対面型ビジネスモデルへの転換がスムーズに行えるようなツールを紹介することや、SNSを使いこなすための注意点、活用方法などをより具体的に説明することで、知識の向上、売上の増加につながった。 ④「コロナ禍の成長する最新IT集客ビジネス活用セミナー」①②③のセミナーを踏まえた上で、コロナ禍におけるSNSの重要性、SNSでの発信力強化につながるセミナーを実施、情報発信力の強を図ることで、新規顧客の獲得につなげ、新たなビジネスモデルの構築につなげることで、売り上げの増加を図ることができた。						
	代表指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
	数値目標	70%	実績数値	88.9%	目標達成度	127.0%		

	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、トータル的なSNSの活用につながり、ECサイトの構築、LINEでの情報発信など活用することにより、売上の増加につながった。			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)	目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年度と同様に新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、セミナー開催時期など未確定な部分が多かった。参加事業所は計画通りではあったものの、アフターフォローなどを含めた伴走型の支援を実施しにくい現状にある。次年度はよりSNS等の活用が必要だと考えており、内容等も再検討していきたい。			

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	21.0	支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	95.2%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。								
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	80.0%	目標達成度	114.3%			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	21.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	119.0%	満足率	96.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。								
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	84.0%	目標達成度	120.0%			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	21.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	90.5%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。								
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	94.7%	目標達成度	135.3%			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	92.5%	満足率	97.3%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。								
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合							
		数値目標	70%	実績数値	97.2%	目標達成度	138.9%			
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

富田林商工会

事業名		製品・商品・サービス魅力強化発信事業							
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内の事業所の製品、商品、サービスは個性的で、魅力的なものが多数存在しているが、製品、商品、サービスの本来持つ力、魅力等を伝えきれていないのが大部分である。見せ方ひとつで受取る側に与えるイメージやそのものの価値などが変わり、製品・商品・サービスに大きな付加価値を加えることができるということを知り、効果的なデザインの活用について学んでもらい、新たな販路の拡大、自社販売力の向上を目指す。そのことにより今後の開発意欲を高め、社内の意識改革、改善につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	○セミナー 開催日時：令和3年12月2日（木）PM1：30～PM4：30 開催場所：富田林商工会館 会議室 開催内容：第1部セミナー「プレスリリースセミナー」第2部「個別ワークショップ」第3部「大阪府施策の説明」 参加企業数18社19名 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。							
	②広域連携								
③市町村連携									
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	18.5	支援実績率	74.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中での開催ではあったが、プレスリリースについで興味がある事業者が多く一定の参加者数、また満足度も100%と評価が高かったと考える。セミナーを受講したことで、プレスリリースに興味を持たれた事業者が多く、取り組んでいきたいという声も多く聞かれた。どうすれば効果が高く、目に留まるかなど実践された体験を交えた内容であったため、取り組み方の参加になったと感じる。より効果の高い手法を学んでいたことにより、実践できると考える。							
	代表指標	プレスリリースを実践していきたいと考える企業割合							
	数値目標	80%	実績数値	88.8%	目標達成度	111.0%			
	成果の代表事例	セミナーを受講し、プレスリリースを効果的に活用したことで、SNS等の閲覧率が上がり、新規顧客の獲得につながった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は新型コロナウイルスの影響により事業を開催することが難しかったものの、少なかつたもの事業者の参加も見込まれ、また、満足度も高く一定の成果はあったと考える。次年度は今回のプレスリリースセミナーをより効果的なものにするためSNSを活用し販売促進につながるセミナーを開催予定しており、実践に即した内容を検討している。セミナー内容は参加者からの評価も高く、今後も大阪デザインセンターと連携し事業を開催していきたい。							

富田林商工会

事業名		創業促進事業
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林商工会管内事業数は、販売力の低下、得意先の減少、景気の悪化、後継者不足など多種多様の事情により、前年比 4.8% 減（東京商工リサーチ）と減少傾向にあるのが現状である。このような状況の中で、地域内の事業所数を増加させ、地域雇用の増加を図るなど地域活性が急務である。ついては、これから創業を考えている方に必要な情報を提供する機会を設けるとともに、創業しやすい環境を整え企業家育成を促進することを目的とする。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	主に富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、羽曳野市を中心とした南河内エリアで、創業を希望、検討している方や創業後5年以内の方
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和元年度実施状況</p> <p>①第1回創業セミナー 開催日：令和3年4月30日・5月7日・5月14日・5月28日 開催時間：14時から16時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：18名</p> <p>②第2回創業セミナー 開催日：令和3年6月10日・6月17日・7月1日・7月8日 開催時間：14時から16時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：16名</p> <p>③第3回創業セミナー 開催日：令和3年8月27日・9月3日・9月17日・9月24日 開催時間：18時から20時 開催場所：富田林商工会館 会議室 参加者：15名</p> <p>④第4回創業セミナー 開催日：令和3年10月27日・11月10日・11月27日・11月24日 開催時間：14時から16時 開催場所：LIC羽曳野 会議室 参加者：19名</p> <p>⑤創業予定者交流会 開催日：令和3年11月24日 開催時間：16時から17時 開催場所：LIC羽曳野会議室 参加者：10名</p> <p>⑥創業希望者に対するトータル的な支援を行う。（ハンズオン支援）セミナー参加者68名のうち16名が創業し12名が創業準備または創業に向けた個別支援を実施するなど創業に係るトータル的な支援を実施。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>
	①府施策連携	大阪府と連携し、創業を促進できる施策等を紹介、創業意欲の向上につなげた。
	②広域連携	広域連携することで、参加者の増加、創業に向けて近隣地域でのネットワークが構築できた。
	③市町村連携	広報掲載により参加申込みが増加、各行政独自の創業者向け補助金等とも連携したとにより参加者が増えるなど効果的な事業を実施することができた。
	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	84.0	支援実績率	105.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染拡大ではあったが、計画通り事業を実施することができた、参加者も予定の総支援企業数を上回る参加があり、コロナ禍の中において創業に対する関心の高さが伺えた。また、昨年同様大阪府よろず支援拠点など各種機関とも連携を高めることによって、創業希望者をより具体的な創業につなげることができた。（よろず支援拠点の専門相談を受けたあと1社創業）全参加者84名のうち16名が創業し、12名が創業準備または創業に向けた計画の策定をするなどにつながり、セミナーを通して事業効果は高かったと感じる。また、継続的な伴走型の個社支援を実施したことにより、具体的な事業計画書の作成につながり、6ヵ月、1年先のビジョンや目標、目的を明確にすることができ、継続的な事業に取り組むことが可能になったと考える。								
		代表指標	創業意識が向上した割合（アンケート）							
		数値目標	70%	実績数値	87.5%	目標達成度	125.0%			
	成果の代表事例	セミナーを受講した創業予定者が、具体的な創業計画書を作成、創業したことで、円滑な創業ができた。また、セミナー参加者とネットワークが構築できたことで、地域での販売先の確保ができ、新たな顧客の獲得につながった。								
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	新型コロナウイルスの感染拡大の中の開催ではあったが、予定参加者数を上回る受講があったため一定の成果は出ていると考える。また、セミナー受講者のうち創業者も2割ぐらいあり、セミナーでの内容が活かされていると感じる。次年度はよろず支援拠点とより連携を深め（年2回開催）専門的な知識の向上に努め創業者数を増やしていきたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	18.0	支援実績率	112.5%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。								
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）							
		数値目標	70%	実績数値	77.7%	目標達成度	111.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。								
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）							
		数値目標	70%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	93.8%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。								
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）							
		数値目標	70%	実績数値	73.3%	目標達成度	104.7%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度					

実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	118.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	70%	実績数値	78.9%	目標達成度	112.7%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	事業に参加したことにより地域を超えた創業者同士の連携ができ、より創業の促進につながった。							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	70%	実績数値	80.0%	目標達成度	114.3%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度⑥	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	6.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	創業者に対してセミナーでは補えない創業知識を個別相談により提供することで、創業しやすい環境づくりを促進するとともに、創業後も引き続き支援を実施できる体制を構築することができ							
		指標	創業意識が向上した割合（アンケート）						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				